

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援リ・ハビリはつね		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・重症心身障がい児の事業所であるが、重症心身障がい児以外での医療的ケア児の算定で受け入れている	・重症心身障がい児の施設基準よりプラスして看護師を配置することにより医療的ケア児を受け入れている。	・医療的ケア区分により日により受け入れができない可能性がある為調整が必要。
2	・片道送迎(学校まで)であるため個別療育が充実して行える環境である。	・機能訓練職員を多く配置することにより個別療育(リハビリ)にアプローチして行える環境を取っている。	・継続して身体機能面、生活環境面にアプローチしてまいります。
3	・生活介護事業所と併設していることで将来を見越して、利用をしたい方が多い。	・高校卒業前から将来を見据えて早い段階から生活介護への実習につなげている。	・スムーズに情報共有を行い生活介護での生活が楽しく過ごせるよう支援してまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常勤、訪問兼務スタッフが多い	・はつね常勤スタッフが少なく業務に偏りが出ている。	・事業所の全職種が療育できる事により様々な角度からお子様の成長をサポートできる体制を作る。 ・看護師、保育士、リハスタッフ適宜募集 ・情報共有の徹底
2	・ご自宅へのに送迎支援がない	・送迎がないことによりお迎えの際に親御様が事業所に来所し事業所のスタッフとコミュニケーションを取れる体制を作っている。	・ご自宅への送りの支援の予定は今後ありません。
3	・授業終了日の支援は事業所滞在時間が短く主活動の時間が十分に作れていない。	・機能訓練職員の個別療育(リハビリ)の時間が滞在時間の半数を締めておりその他の生活介助もあるためなかなか主活動を個別に行える時間を作ることが難しくなっている。	・機能訓練の時間にできる活動を考え姿勢保持中に楽しいと思える時間を作る。 ・その日の活動の優先順位を考えて行っていく。